

行政視察等報告書（個人用）

令和1年 8 月 10 日

知立市議会議長 様

報 告 者	杉山 千春（公明党）
日 時	令和元年 8 月 2 日（金）10 時～11 時半
視察（研修）場所	愛知県 安城市 安城市役所
目 的	「ロタウイルス予防接種助成制度について」
★事業導入までの経緯について 1、 ロタウイルス予防接種費用の一部助成をすることとした理由 (1) 乳児期に感染すると胃腸炎が重症化しやすいため (2) ワクチン代が一番高価なため、助成することで保護者の負担軽減 (3) 予防効果が高い ・ 定期の予防接種となるのは遅いとの推測 諸条件からロタウイルス予防接種が有効と考え、導入。 ★事業概要と事業費について 1、事業概要 ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防するため、平成 26 年 4 月生まれの 児から対象にロタウイルス予防接種費用の一部助成を実施。 2、事業費 平成 31 年度予算書（4 月～9 月） ロタリックス：4,878 円 1,000 人×0, 85 2 回接種率 0, 85 7,048,710 円 ロタテック：3,385 円 1,000 人×0, 15 3 回接種率 0, 85 1,292,085 円 (10～3 月) ロタリックス：4,885 円 1,000 人×0, 85 2 回接種率 0, 85 7,058,825 円 ロタテック：3,385 円 1,000 人×0, 15 3 回接種率 0, 85 1,294,762 円 3、接種割合と接種の効果及び副作用の有無について ア、接種割合 H30 対象者 1,832 人 ロタリックス（2 回）約 1,329 人 ロタテック（3 回）約 290 人 計約 1,619 人 接種率 約 88, 3% イ、接種の効果 市内のクリニックの医師によると、ロタウイルス胃腸炎による 入院件数が減ったとのこと、数値で実績はない。	

ウ、副反応の有無について

助成開始から現在まで副反応の報告はない。

ただし、任意接種の副反応報告は市に直接来ないため、実数は不明

4、今後の課題について

ロタウイルスのワクチン費用が高く、自己負担を軽減するため、
ロタウイルス予防接種費用の一部助成額が費用の 30%以上となるよう
予算を確保。

- ・ 定期の予防接種にむけて円滑に移行できるよう準備すること。

★【所感 知立市政への反映にむけて】

ロタウイルスワクチンの有効性は多くのデーターにより証明されており
乳児期に感染すると重症化となり、大事な命をなくす事態にも。
定期接種までの期間、高額ワクチンの補助制度は早期に事業化すべきと
考える。要望していきたい。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後 1 週間以内に提出してください。

行政視察等報告書（個人用）

令和 1 年 8 月 10 日

知立市議会議長 様

報 告 者	杉山 千春（公明党）								
日 時	令和元年 8 月 2 日（金）								
視察（研修）場所	愛知県安城市								
目 的	新生児聴覚検査の助成制度について								
(1) 事業導入までの経緯について 国からの通知「新生児聴覚検査の実施について」の中で、「新生児聴覚にかかる費用について公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減を図ること」と通知があり、安城市として「お誕生記念ここから健康事業」の全員サービスとして検査の費用助成を開始した。これは県内 3 番目に導入した事業 (2) 事業概要と事業費について ① 事業概要 目的：言葉の発達を促すために、生まれてすぐ検査を受けることが必要であることを周知するため。 経済的負担の軽減を図り、検査を受けやすくするため。 異常の早期発見・早期療育に結びつけるため。 対象：検査実施日に安城市に住民登録のある児 対象検査：原則一か月以内に、国内医療機関で受けた自動 ABR または OAE 検査。ただし保険診療で実施した場合、助産所で受けた場合は対象外。やむを得ない事情により 1 ヶ月を超えて検査を受けた場合も対象とする。 内容：赤ちゃん 1 人につき 5,000 円を助成。 平成 31 年から変更点：助成方法を償還払いから現物給付（受診表）に変更 ② 事業費 H31 年度予算 <table><tr><td>委託料</td><td>5,000 円</td><td>※1,100 人</td><td>5,500,000 円</td></tr><tr><td>扶助費</td><td>6,000 円</td><td>（166 人/月 6 月＋250 人）</td><td>6,230,000 円</td></tr></table> (3) 事業実施の成果と今後の課題 ①今後の課題 新生児聴覚検査受診率 100%を実現する。		委託料	5,000 円	※1,100 人	5,500,000 円	扶助費	6,000 円	（166 人/月 6 月＋250 人）	6,230,000 円
委託料	5,000 円	※1,100 人	5,500,000 円						
扶助費	6,000 円	（166 人/月 6 月＋250 人）	6,230,000 円						

医療機関に新生児聴覚検査の必要性が認識され、受診率の向上につながるよう県下統一しての取り組みが必要。安城市では、平成 29 年 4 月 1 日生まれの児から費用助成を開始した。また、平成 31 年 4 月 1 日生まれの児から受診票に助成に変更した。

受診しない理由の一つとして保護者や医療機関における新生児聴覚検査の必要性が認識されていない現状がある。安城市における取り組みとして償還払いの費用助成から受診票の交付に変更し、妊産婦・乳児健診の受診票の綴りに綴り込み、交付することで意識づけを高めることにつながる。また保護者の負担が軽減され、受診率も向上するのではないかな。

【所感】

知立市においてはこの費用助成事業は行われていない。

一般質問等でこの受診の必要性を訴え、費用助成の要望もおこなった。

安城市での償還払いからの変更は、大変意義があることと考える。

県事業として、進めていくのが一番とも考えるが、子育てしやすいまち知立として、是非早急に導入すべきと考える。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後 1 週間以内に提出してください。